宿泊業A

従業員数 300名以上

まるっとプラン 16,500円

神奈川県/宿泊業

事業概要

神奈川県にある宿泊施設です。
本事業では、空調設備、ボイラ・給湯器、デマンドにおいて省エネ診断を受診し、投資改善３件の提案を受けました。



※写真はイメージです。

省エネ効果

エネルギー削減量（原油換算値）	CO2削減量	費用削減額
25.5 kl/年	45.6 t-CO2/年	261.3 万円/年

※　端数処理を切り捨てにて行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

事業所において、使用しているエネルギーの割合は電力が約67.8%、ガスが約32.2%となります。
①高効率空調設備への更新 ②高効率変圧器への更新
変圧器につきましては製造から29年経過（34年経過もあり）しているため、法定耐用年数を超えており波及事故防止の観点からも更新の提案をいたします。
屋根に太陽光発電システムが設置できるスペースが十分にありますが活用できていません。
太陽光発電システムを新設し、全量自家消費することで電力使用量の削減を図ります。また、蓄電池設備を設置することで夜間電力使用量の低減やBCP対策に活用できます。

事業者様の声

当施設は開業後50年経過し、定期的に設備の更新投資をしてきておりますが、今回はじめて省エネ診断をしていただきました。診断結果については、省エネの観点だけでなくコスト削減に寄与する内容の助言もいただき、早速、今後の設備投資計画の見直しに活用していきます。

令和５年度補正予算 中小企業等エネルギー利用最適化推進事業費
（中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業）

空調設備

運用改善　投資改善

【高効率空調機への更新】
空調機を高効率の機種に更新することで、今までと同じ使い方のまま電力使用量を削減できる見込みがあります。
既存空調使用量　合計　3,796kWh
更新空調使用量　合計　1,394kWh
削減量　2,402kWh（63.3%の削減）
電気料金フラットレート　22.79円/kWhにて換算いたします。

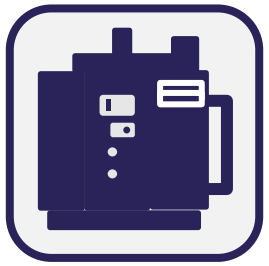


0.5 kl/年　0.95 t-CO2 /年　5.5 万円/年

ボイラ・給湯器

運用改善　投資改善

【配管の保温】
ボイラー配管のフランジ部が保温されていないため、保温対策を行うことで省エネが期待できます。（-5%）
※フランジ部はメンテナンス等のため、保温されないケースが多くありますが着脱式カバー等も存在します。
遮断熱カーテン等も熱源の放熱を抑えることができます。
ボイラーの圧力を0.1MPa下げることで、0.16%の熱効率改善が期待できます。
【投資改善例】
・潜熱回収型ボイラーに更新（燃料費20%、co2排出34%改善）
・木質バイオマスボイラーの導入（カーボンニュートラル）



－ kl/年　－ t-CO2 /年　－ 万円/年

デマンド

運用改善　投資改善

【高効率変圧器の更新】
負荷率が57.6%と高く、昼夜の差が少ないです。最高デマンドは8月20日の気温が高い13:00から14:00に計測されています。
電力消費量は7月、8月、9月が多く、4月が少なくなっております。
気温上昇に伴い空調利用。既存の変圧器を高効率の変圧器に更新することで、省エネルギー効果が得られます。
既存損失電力量合計197,521kWh 更新損失電力量合計85,265kWh
削減量112,256kWh（47.5%の削減）
電気料金フラットレート　22.66円/kWhにて換算いたします。
太陽光発電システムを導入し、全量自家消費することで電力使用量の削減を図ります。※地下に帯水層が存在するとお聞きしました、帯水層の水温によっては地下水クーラー等も可能。（1.1ｔ／1h）



25.0 kl/年　44.6 t-CO2 /年　255.8 万円/年